

## 広島市のスポーツに関する基礎的データ

項 目	ページ
広島市のスポーツ施設（平成21年1月末現在）	P 1
学区体育協会の活動状況（平成19年度）	P 1
スポーツ少年団・子ども会の加入者数の推移	P 2
国民体育大会における広島県の順位の推移	P 2
アジア競技大会以降の主な国際的・全国的なスポーツ大会の開催状況	P 3
政令指定都市のプロスポーツチームや企業スポーツチームの状況	P 4
広島東洋カープ、サンフレッチェ広島の1試合あたり平均観戦者数の推移 （市内開催の公式戦における平均観戦者数）	P 5
広島市内の中学校運動部活動の状況	P 6
平成20年度広島市新体力テスト比較表（対 平成19年度全国平均）	P 7

① 広島市のスポーツ施設（平成21年1月末現在）

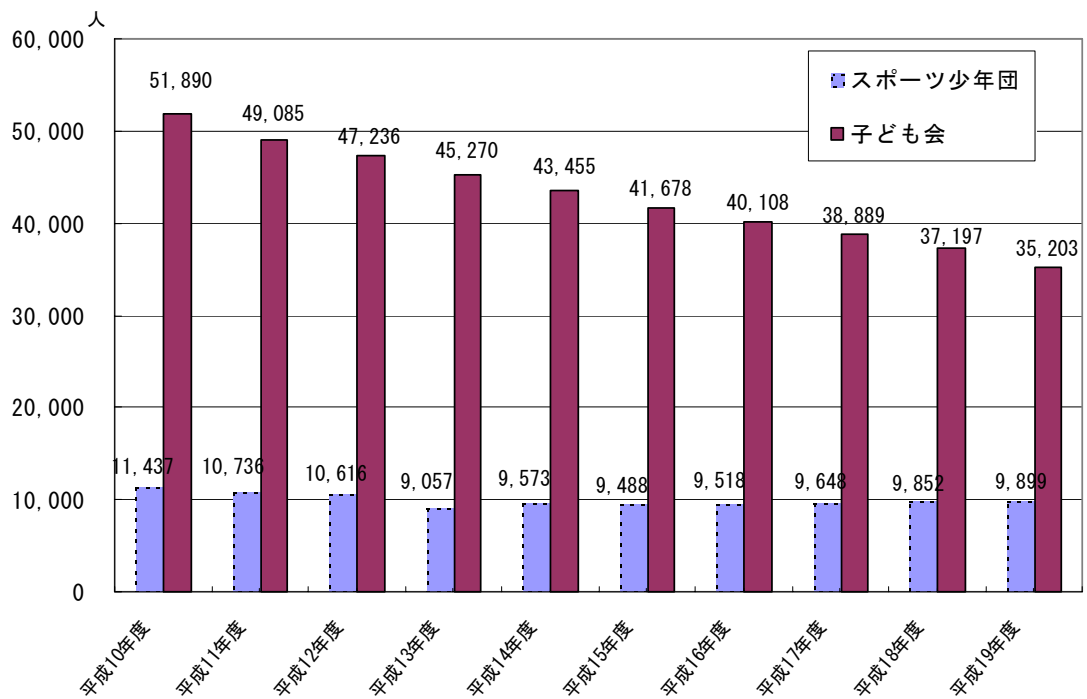
区分	スポーツ施設	公園内のスポーツ施設	その他	計
グラウンド・運動場	・戸坂運動広場等(24箇所)	・竜王公園等(28箇所)		52箇所
野球場		・寺迫公園野球場等(5箇所)	・市民球場	6箇所
陸上競技場		・広域公園陸上競技場 ・同 補助競技場		2箇所
球技場	・中央バレーボール場	・広域公園第一球技場 ・同 第二球技場		3箇所
テニスコート	・中央庭球場等(11箇所)	・広域公園テニスコート等(25箇所)		36箇所
体育館	・区スポーツセンター体育室(10箇所) ・吉島体育館等(3箇所)	・瀬野川運動公園体育室	・サンプラザホール ・心身障害者福祉センター体育室	16箇所
プール	・総合屋内プール ・区スポーツセンタープール(9箇所)	・中央公園ファミリープール	・心身障害者福祉センタープール	12箇所
トレーニング室等	・区スポーツセンター等(10箇所)			10箇所
クアハウス	・クアハウス湯の山			1箇所

② 学区体育協会の活動状況（平成19年度）

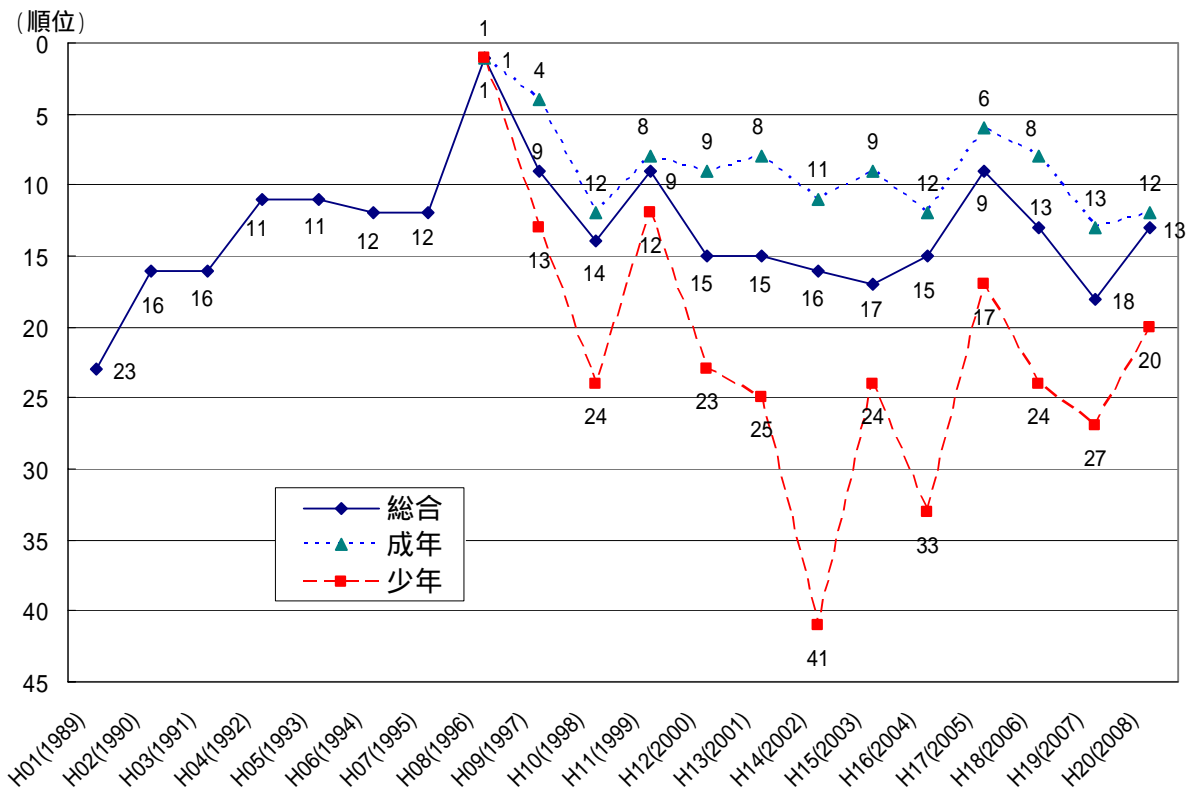
団体数		135団体
活動内容	クラブ・同好会活動	バレーボール、バドミントン、卓球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール、ソフトテニス、ゲートボール、剣道 ほか
	スポーツ・レクリエーション行事等開催	町民体育祭・運動会、各種球技大会 ほか
	スポーツイベントへの協力	広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル、区民スポーツ大会、全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 ほか
住民参加状況		・クラブ・同好会加入率 2.7% ・行事参加率 20.7% 広島市人口(平成20年3月末)に対する割合である。

資料) 平成19年度学区体育団体スポーツ振興事業実績報告書

③ スポーツ少年団・子ども会の加入者数の推移



④ 国民体育大会における広島県の順位の推移



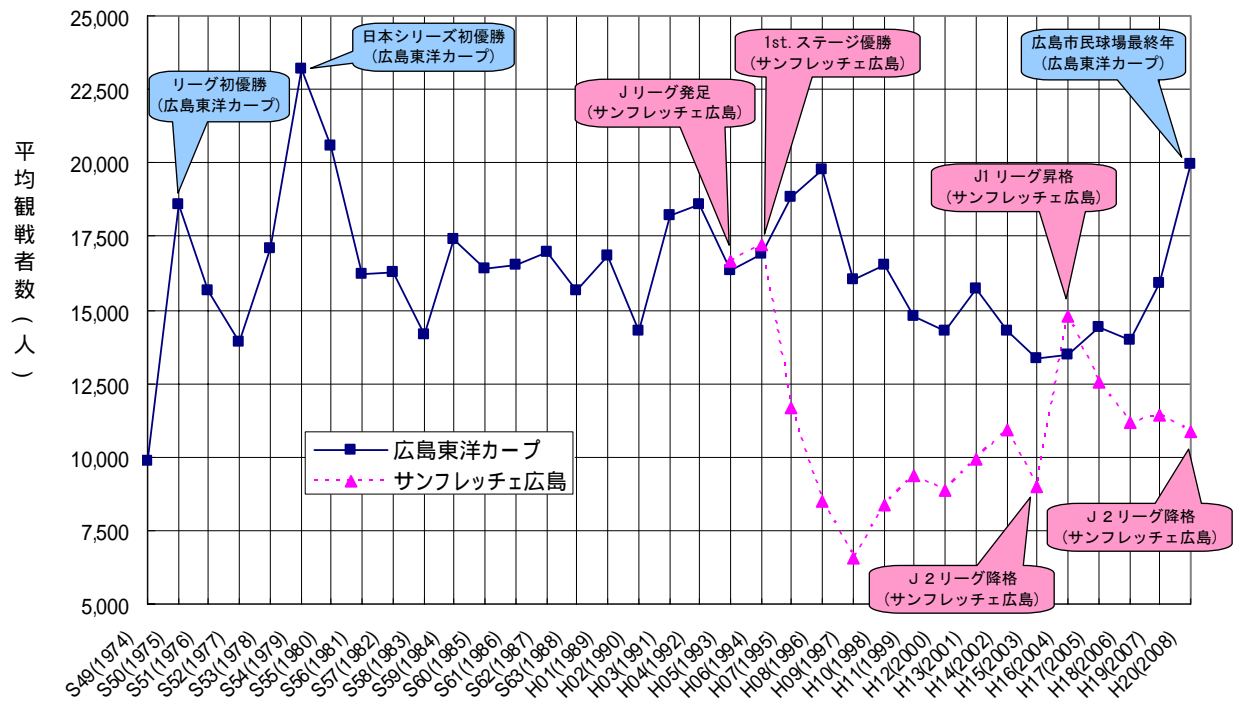
⑤ アジア競技大会以降の主な国際的・全国的なスポーツ大会の開催状況

区分	国際大会		全国大会	
	総合大会	競技大会	総合大会	競技大会
平成 6 年 (1994 年)	アジア競技大会			
平成 7 年 (1995 年)				全日本新体操選手権大会 全日本体操競技選手権大会 日本アマチュアバレーボール選手権大会 日本シニアバレーボールカップ 全日本柔道選手権大会 日本身体障害者水泳選手権大会
平成 8 年 (1996 年)			国民体育大会(ひろしま国体) 全国身体障害者スポーツ大会(おりづる大会ひろしま)	
平成 9 年 (1997 年)		ワールドユースカップ アジア・オセアニア地域大会(テニス)		
平成 10 年 (1998 年)		ワールドユースカップ アジア・オセアニア地域大会(テニス) バレーボール世界選手権		
平成 11 年 (1999 年)		ワールドユースカップ アジア・オセアニア地域大会(テニス)		NHK 杯全日本体操選手権大会 日本シニアバレーボール選手権大会
平成 12 年 (2000 年)		ワールドユースカップ 決勝大会(テニス)		全日本総合バレーボール選手権大会
平成 13 年 (2001 年)			全国健康福祉祭 (2001 ねんりんピック広島)	日本身体障害者水泳選手権大会
平成 14 年 (2002 年)			全国スポーツレクリエーション祭(広島 2002)	全日本シニアソフトテニス選手権大会 ボッチャ JapanCup
平成 15 年 (2003 年)		第 12 回世界ソフトテニス選手権大会		全日本総合バレーボール選手権大会 ボッチャ JapanCup ソフトテニス日本リーグ
平成 16 年 (2004 年)		東アジアユース男子ホッケー選手権大会		ソフトテニス日本リーグ
平成 17 年 (2005 年)				第 7 回全国社会人ゲートボール大会 ソフトテニス日本リーグ
平成 18 年 (2006 年)		2006 年 FIBA バスケボール世界選手権広島ラウンド 2006 バレーボール世界選手権第 2 次ラウンド 広島大会	スポーツマスターズ 2006 広島大会	第 24 回レディス陸上競技大会 ソフトテニス日本リーグ 日本オパティズムセリング選手権大会
平成 19 年 (2007 年)				全日本実業柔道団体対抗大会 第 25 回レディス陸上競技大会 ソフトテニス日本リーグ 全日本 OP 級チアダンス選手権大会 全国グランドゴルフ交歓大会
平成 20 年 (2008 年)				第 8 回全日本チアダンス(対イ級)選手権大会 第 78 回全日本大学対抗卓球選手権大会 第 14 回全国フットパレード大会 第 58 回全国高等学校スケート競技(フィギュア)選手権大会
毎年開催	織田幹雄記念国際陸上競技大会 ヒロシマ国際バレーボール大会 アジアカップ ひろしま国際ソフトテニス大会 ひろしま国際平和マラソン PeaceCup 国際交流車いすテニス大会		全国都道府県対抗男子駅伝競走大会(ひろしま男子駅伝) JOC シニアリレックカップ 全日本ジュニアソフトテニス選手権大会 JABA 広島大会(野球)	

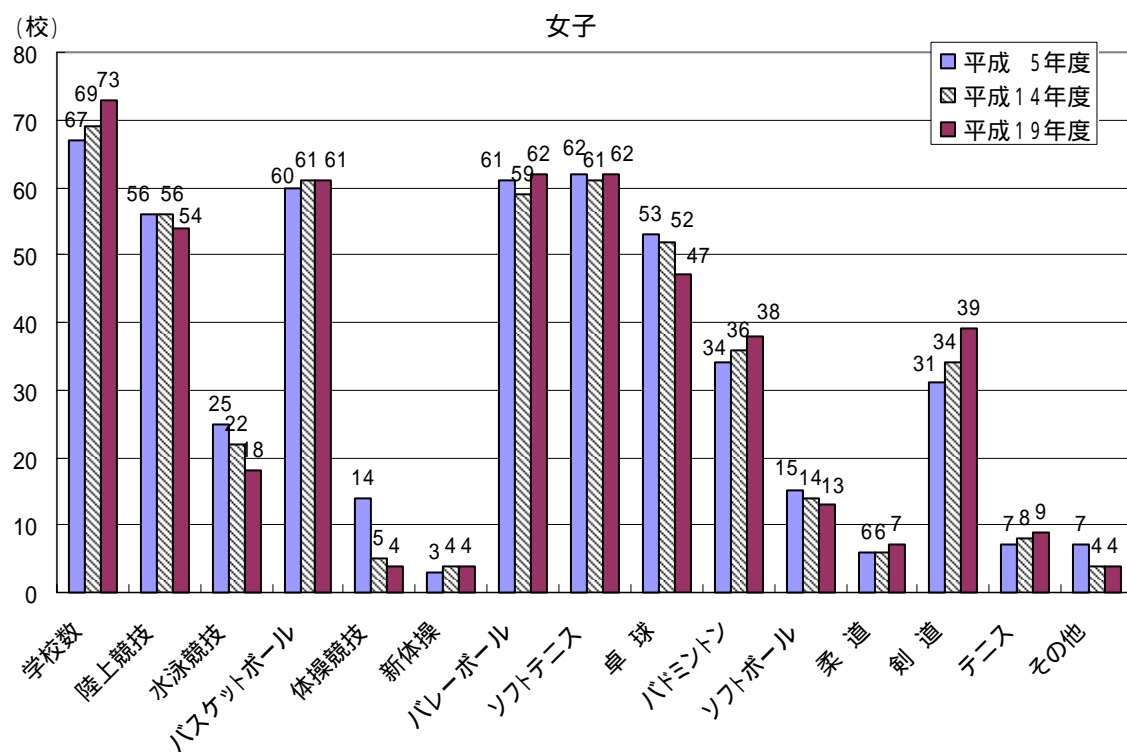
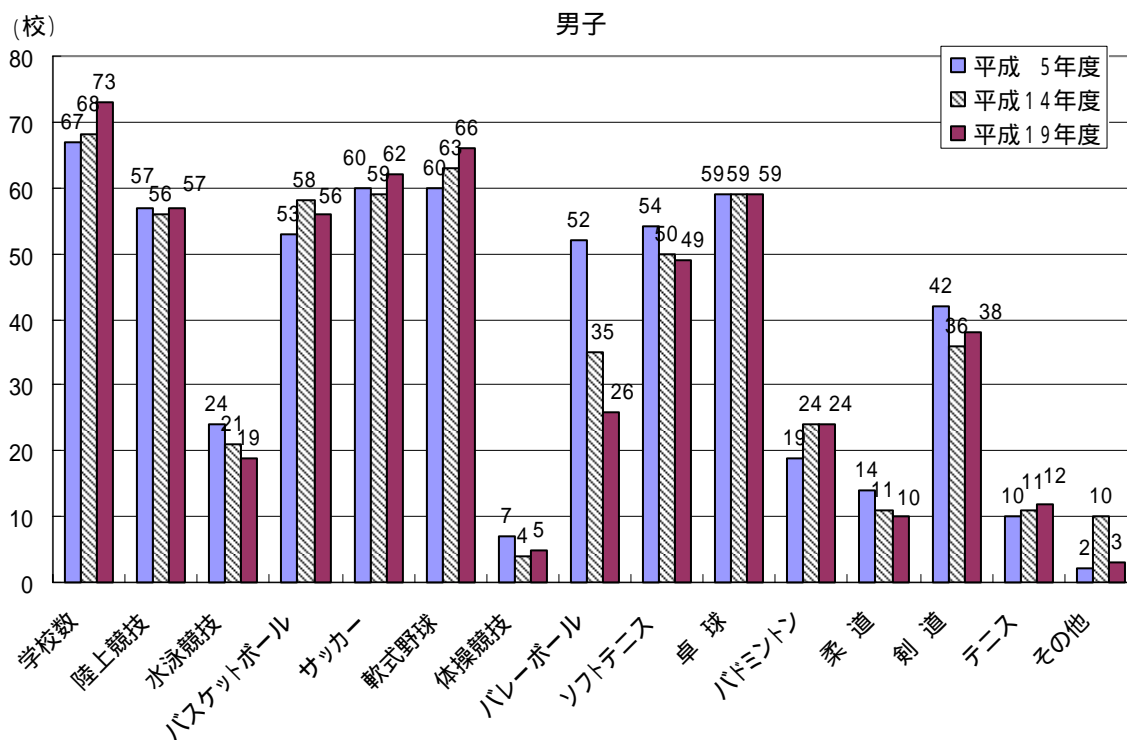
⑥ 政令指定都市のプロスポーツチームや企業スポーツチームの状況

区分	プロ野球	「トップス広島」加盟チームが参加するリーグ					日本バスケットボールリーグ	バスケットボール女子日本リーグ	ラグビートップリーグ	その他(陸上競技等)
		サッカーJリーグ	バレーボールVリーグ	日本ハンドボールリーグ	バドミントン日本リーグ	ホッケー日本リーグ				
札幌市	北海道日本ハムファイターズ	コンサドーレ札幌			JR北海道		レラカムイ北海道			
仙台市	東北楽天ゴールデンイーグルス	ベガルタ仙台	NECブルーロケッツ		NTTグループ東北七十七銀行					
さいたま市		浦和レッズ 大宮アルディージャ								
千葉市	千葉ロッテマリーンズ	ジェフユナイテッド市原	柏エンゼルクロス							
川崎市		川崎フロンターレ	NECレッドロケッツ 富士通				東芝ブレイブサンダース	富士通レッドウエーブ		
横浜市	横浜ベイスターズ	横浜F・マリノス 横浜FC			日立情報通信エンジニアリング					
新潟市		アルビレックス新潟								
静岡市		清水エスパルス						シャンソン化粧品 シャンソンVマジック		
浜松市										
名古屋市	中日ドラゴンズ	名古屋グランパスエイト	大同特殊鋼レッドスター	大同特殊鋼HC名古屋	ジェイテクト	名古屋フラワートレ	三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ	トヨタ自動車アンテロープス 三菱電機コアラース	名古屋オーシャンズ(フットサル)	
京都市		京都サンガF.C.				立命館大学			ワコール(陸上) 佐川急便(陸上)	
大阪市	オリックス・バファローズ	セレッソ大阪	JTマーヴェラス						大阪ガス(陸上) シュライカー大阪(フットサル)	
堺市			堺ブレイザーズ							
神戸市	オリックス・バファローズ	ヴィッセル神戸	久光製薬スプリングス					神戸製鋼コベルコスティーラーズ	ノーリツ(陸上) シスメックス(陸上) デウソン神戸(フットサル)	
広島市	広島東洋カープ	サンフレッチェ広島	JTサンダース 大野石油広島	広島メイプルレッズ	広島ガス	コカ・コーラウエストレッドスパークス			中国電力(陸上) NTT西日本(ソフトテニス)	
北九州市										
福岡市	福岡ソフトバンクホークス	アビスパ福岡						九州電力キューデンヴォルテクス コカ・コーラウエストレッドスパークス		

⑦ 広島東洋カープ、サンフレッチェ広島の1試合あたり平均観戦者数の推移  
 (市内開催の公式戦における平均観戦者数)



⑧ 広島市内の中学校運動部活動の状況



⑨ 平成20年度広島市新体力テスト比較表（対 平成19年度全国平均）

区 分		平成20年度の広島市平均が平成19年度の全国平均と比較して「同じか、上回る」種目の割合		
		男 子	女 子	男女計
市立 小 学 校	6歳（1年生）	75.0%（6/8種目）	25.0%（2/8種目）	50.0%（8/16種目）
	7歳（2年生）	50.0%（4/8種目）	50.0%（4/8種目）	50.0%（8/16種目）
	8歳（3年生）	62.5%（5/8種目）	37.5%（3/8種目）	50.0%（8/16種目）
	9歳（4年生）	62.5%（5/8種目）	75.0%（6/8種目）	68.8%（11/16種目）
	10歳（5年生）	12.5%（1/8種目）	25.0%（2/8種目）	18.8%（3/16種目）
	11歳（6年生）	62.5%（5/8種目）	62.5%（5/8種目）	62.5%（10/16種目）
市立 中 学 校	12歳（1年生）	55.6%（5/9種目）	22.2%（2/9種目）	38.9%（7/18種目）
	13歳（2年生）	0.0%（0/9種目）	11.1%（1/9種目）	5.6%（1/18種目）
	14歳（3年生）	11.1%（1/9種目）	11.1%（1/9種目）	11.1%（2/18種目）
市立 高 等 学 校	15歳（1年生）	22.2%（2/9種目）	22.2%（2/9種目）	22.2%（4/18種目）
	16歳（2年生）	22.2%（2/9種目）	22.2%（2/9種目）	22.2%（4/18種目）
	17歳（3年生）	11.1%（1/9種目）	11.1%（1/9種目）	11.1%（2/18種目）
合 計		36.3%（37/102種目）	30.4%（31/102種目）	33.3%（68/204種目）

テスト項目：小学校：「握力」<sub>♂</sub>、「上体起こし」<sub>♂</sub>、「長座体前屈」<sub>♂</sub>、「反復横とび」<sub>♂</sub>、「20mシャトルラン」<sub>♂</sub>、「50m走」<sub>♂</sub>、「立ち幅とび」<sub>♂</sub>、「ソフトボール投げ」の8種目  
 中学校・高等学校：「握力」<sub>♂</sub>、「上体起こし」<sub>♂</sub>、「長座体前屈」<sub>♂</sub>、「反復横とび」<sub>♂</sub>、「20mシャトルラン」<sub>♂</sub>、「持久走」<sub>♂</sub>、「50m走」<sub>♂</sub>、「立ち幅とび」<sub>♂</sub>、「ハンドボール投げ」のうちの8種目（「20mシャトルラン」または「持久走」を選択実施）

**新体力テスト**

文部科学省では、昭和39年(1964年)から、国民の体力・運動能力の現状を明らかにし、体育・スポーツ活動の指導と、行政上の基礎資料として広く活用するため、「体力・運動能力調査」を実施してきた。

平成11年度(1999年度)の「体力・運動能力調査」から、国民の体位の変化、スポーツ医・科学の進歩、高齢化の進展等を踏まえ、現在の「新体力テスト」となった。